

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。近代における山梨ゆかりの人物の功績等を紹介しています。

旧知事室

残された当時の家具類や写真などから、創建時の知事室の内装を復元しました。昭和初期の香りを感じてください。



県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰囲気を感じられる空間としました。中央のモニターで県政の歴史などをご覧いただけます。



3階 正庁

県庁内の特別な行事を行う場所です。残された写真から当時の姿に復元しました。年間10回程度講座等も開催します。



人物紹介室

テーマに沿って9人の人物を詳しく紹介します。中央では、近代化の象徴である中央線笹子トンネルの歴史を映像で紹介しています。



子ども向けコンテンツ

「ふるさと人物伝」

キャラクターとなった人物のクイズを楽しみながら人生の転機などが学べます。



導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さまをお迎えます。人物の功績や人物が残した言葉などをお伝えしています。



情報展示室

50人に関連するその他の人物や、人物ゆかりの地など、様々な情報を検索できます。

2階

Information

開館時間/午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)

休館日/毎月第2・第4火曜日

その他展示替え等により臨時に休館する場合があります

入館料/無料

山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階 TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991
http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html



県庁舎別館展示施設
山梨近代人物館
昭和五年創建時の優雅な姿によみがえった県庁舎別館に「山梨近代人物館」が開館しました。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物の中から50人を選定し、この中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

第3回展示「近代山梨を築いた人々」

時代が江戸から明治へと代わり、大きな変化に見舞われる近代日本。「近代化」する山梨のなかで、新たな産業や制度の導入に尽力した人々や、地域のくらしや文化を守り、育むことに貢献した人々を紹介いたします。



つちや りゅうけん
土屋 龍憲

(甲州市 1859~1940)

我が国最初のワイン醸造技術の調査のためにフランスへ留学。様々な技術を持ち帰り、山梨県の葡萄栽培やワイン醸造の基礎を築いた。



ふじむら しろう
藤村 紫朗

(熊本県 1845~1909)

第5代山梨県知事。勸業製糸場の建設など産業の改良・奨励、学校・道路の整備を進め、山梨県の近代化に貢献。擬洋風で建てられた小学校などは、彼の名に因み「藤村式建築」とも称された。



とみおか けいめい
富岡 敬明

(佐賀県 1822~1909)

山梨県参事として、土肥・藤村両県令をサポートし、大小切騒動の収拾や日野春開拓などの勸業政策を推進した。熊本県令などを歴任後山梨に戻り、漢詩壇で活躍した。



すぎうら けんぞう
杉浦 健造

(昭和町 1866~1933)

甲府盆地一帯の人々を苦しめていた地方病(日本住血吸虫症)の医療・研究にあたり、地方病予防法の改良・普及に努めた。



つかもと さだえもん
塚本 定右衛門

(滋賀県 1861~1948)

1907(明治40)年に未曾有の大水害をこうむった山梨県に植林復興事業費を寄贈した。この資金を元に植林された山林は「塚本山」と名付けられた。



ポール・ラッシュ

(アメリカ合衆国 1897~1979)

「清里の父」とも呼ばれる清里開拓の功労者。戦後にかけて清里で酪農を取り入れた新たな農業を定着させた。財団法人キープ協会を創設。



ないとう ます
内藤 満寿

(甲府市 1823~1901)

2代目内藤伝右衛門の養母。「をとめ新聞」の刊行に関わり、女学塾や女紅場を設けるなど、山梨県の女性教育のさきがけとなった。



ないとう でんえもん
内藤 伝右衛門

(山梨市 1844~1906)

山梨県最初の新聞「峡中新聞」(現在の山梨日日新聞)の創始者。印刷・出版業で活躍し、多くの国内外の書籍を山梨に紹介した。



くぬぎ きない
功刀 亀内

(南アルプス市 1889~1957)

郷土資料「甲州文庫」の収集で知られる郷土史研究者。歴史・民俗・美術の各分野にわたる資料群は、山梨の郷土史を語るうえで欠かせないものとなっている。